



東白川小だより

令和5年8月29日(火) №6

校長 桂川 辰也

東白川小学校の夏休み中の出来事

<プール開放>

スクールバスの車検期間を除き、学校閉庁日(8/7(月)~15(火))迄の午前中にプール開放を行いました。いつになく雷が鳴り響く夏でしたが、午前中実施の甲斐があり、全て予定通り実施することができました。少ない日で33人、多い日は43人と全児童の半数が利用し笑顔で満ち溢れました。プール当番にご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



<4年生 城東小学校との交流>



8/1(火)4年生が三重県桑名市の赤須賀港を訪ね、現地の城東小学校4・5年生とともに、干潟観察や学習会を行いました。活動を通して、城東小の子どもたちともすっかり仲良くなりました。秋には城東小の子どもたちが東白川にやってきます。

赤須賀漁業協同組合の方には、干潟漁船に乘坐していただいたり、ハマグリやシジミのお土産をいただいたり、本当にお世話になりました。

安心・安全・笑顔に向けて

「さきがけ挨拶」の勧め

一学期の終業式で、登校途中いつも自分から地域の方に挨拶をしていた児童に、クワガタムシをプレゼントしてくださった地域の方の話をしました。さきがけ挨拶には凄い力がありそうです。「さきがけ挨拶」が東白川小のスタンダードになったら、もっと笑顔溢れる学校になりそうですね。

感染した時は積極的に発信を

コロナが5類になりマスク着用が自由になりました。私自身も基本的にはマスクを着けていません。しかし、自分が発症する可能性がある時と、発症の可能性がある人と接触する時はマスクをしています。他人を感染させることも、自分が感染することも避けたいからです。そのためには、身近な人が感染した時にはその事実を知る必要があります。ご協力いただけるとありがたいです。